

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-212	高等学校	商業	財務会計 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 348	高校財務会計 I 新訂版		

1. 編修の基本方針

- ① 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、学習事項に関連する内容の会計処理方法を紹介する囲み記事や学習した内容の確実な理解を図ることを目的とした囲み記事等を掲載している。
- ② 自主及び自立の精神を養う観点から、練習問題を掲載し、自学自習に役立つよう配慮している。
- ③ 正義と責任を重んずるという観点から、企業会計に関連する法的規制とその目的等を紹介した。また、会社法等や会計基準の抜粋を掲載するなど関連する法規や会計基準も掲載した。
- ④ 伝統と文化の尊重という点から、わが国における会計の歴史を紹介している。また、他国を尊重、国際社会の発展に寄与するという観点から海外の会計の歴史や会計基準の国際化の動き等についても記述している。
- ⑤ 職業及び生活との関連から、企業会計の役割や財務諸表の入手方法、入手した財務諸表の活用方法などについても記述している。また、学習者が具体的にイメージできるよう株式会社の会計のしくみや会計手続きの日程例等についても紹介している。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
まえがき	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化が進展する実社会において発展を続けるわが国について記述している（第5号）。 	2 ページ
第1編	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、財務会計に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から生物と風景の写真を掲載した（第4号）。 伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した（第5号）。 職業及び生活との関連を重視し、財務会計が果たす様々な役割について記述している（第2号）。 正義と責任を重んずる観点から、企業会計が法律や会計基準などのルールにもとづいて行われていることやそのルールについて記述している（第3号）。 	7～24ページ 7 ページ 7 ページ 9～11ページ 12～18ページ
第2編	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、資産会計に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から生物と風景の写真を掲載した（第4号）。 伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した（第5号）。 正義と責任を重んずる観点から、企業会計がルールにもとづいて行われていることがわかるよう側注に根拠法令や根拠となる会計基準等を示している。（第3号） 自主及び自立を養う観点から、編末に総合問題を設け、第2編全体の学習内容を確認できるようにし、自学自習に役立つよう配慮している。（第2号） 	25～88 ページ 25 ページ 25 ページ 25～88 ページ 86～88 ページ
第3編	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付ける観点から負債・純資産会計に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から生物と風景の写真を掲載した（第4号）。 伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した（第5号）。 正義と責任を重んずる観点から、企業会計がルールにもとづいて行われていることがわかるよう側注に根拠法令や根拠となる会計基準等を示している。（第3号） 自主及び自立を養う観点から、編末に総合問題を設け、第3編全体の学習内容を確認できるようにし、自学自習に役立つよう配慮している。（第2号） 	89～120 ページ 89 ページ 89 ページ 89～120 ページ 119～120 ページ

第4編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、損益計算に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から生物と風景の写真を掲載した（第4号）。 ・伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した（第5号）。 ・正義と責任を重んずる観点から、企業会計がルールにもとづいて行われていることがわかるよう側注に根拠法令や根拠となる会計基準等を示している。（第3号） ・自主及び自立を養う観点から、編末に総合問題を設け、第4編全体の学習内容を確認できるようにし、自学自習に役立つよう配慮している。（第2号） 	<p>121～156ページ</p> <p>121ページ</p> <p>121ページ</p> <p>121～156ページ</p> <p>155～156ページ</p>
第5編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、財務諸表作成に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から生物と風景の写真を掲載した（第4号）。 ・伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した（第5号）。 ・正義と責任を重んずる観点から、企業会計がルールにもとづいて行われていることがわかるよう側注に根拠法令や根拠となる会計基準等を示している。（第3号） ・自主及び自立を養う観点から、編末に総合問題を設け、第5編全体の学習内容を確認できるようにし、自学自習に役立つよう配慮している。（第2号） 	<p>157～182 ページ</p> <p>157 ページ</p> <p>157 ページ</p> <p>157～182 ページ</p> <p>181～182 ページ</p>
第6編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、連結会計に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から生物と風景の写真を掲載した（第4号）。 ・伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した（第5号）。 ・国際社会の発展に寄与するという観点から、企業活動の多角化・国際化に伴い、連結財務諸表が重要となってきたことを紹介している（第5号）。 	<p>183～218ページ</p> <p>183ページ</p> <p>183ページ</p> <p>184ページ</p>

第7編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、財務諸表の活用に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から生物と風景の写真を掲載した（第4号）。 ・伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した（第5号）。 ・職業及び生活との関連を重視し、様々な職業や立場から財務諸表の有用性を紹介し、また、財務諸表の入手方法についても記述している。（第2号） 	<p>219～240ページ</p> <p>219ページ</p> <p>219ページ</p> <p>220～223ページ</p>
記帳練習例題	<ul style="list-style-type: none"> ・自主及び自立の精神を養う観点から、記帳例題を掲載し、自学自習に役立つよう配慮している。 	241～246ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ① 豊かな人間性，創造性を養うという観点から，様々な形式の例題を扱い，対応する練習問題を掲載している。
- ② 一般的な教養を高め，専門的な知識，技術及び技能を習得するという観点から，資産・負債・収益・費用等の財務諸表の構成要素から，財務諸表の作成，企業集団全体としての連結財務諸表の作成，さらには作成した財務諸表の活用まで丁寧に記述している。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-212	高等学校	商業	財務会計 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 348	高校財務会計 I 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本書は、「財務会計 I」を履修する学習者のために、財務会計の基礎を理解させることを目的として編修した。

本書は、上記の目的を効率よく達成できるようにするために以下の点に配慮して編修している。

- (1) 全体を「第 I 編 財務会計の基礎」, 「第 II 編 資産」, 「第 III 編 負債と純資産」, 「第 IV 編 損益計算」, 「第 V 編 財務諸表の作成」, 「第 VI 編 連結財務諸表」, 「第 VII 編 財務諸表の活用」に分けて、各編ごとにまとまりのある学習ができるようにした。
- (2) 貸借対照表に関する内容については、教材内容の性格から「第 II 編 資産」(借方), 「第 III 編 負債と純資産」(貸方)と「第 V 編 財務諸表の作成」に分け効率よく学習できるよう構成した。
- (3) 損益計算書に関する内容については、教材内容の性格から、「第 IV 編 損益計算」と「第 V 編 財務諸表の作成」に分け効率よく学習できるよう構成した。
- (4) 注は、本文と対比しやすいように、該当箇所の横に配置した。
- (5) 「財務会計」の学習への興味・関心の喚起、個々の学習事項の確実な理解、幅広い知識教養のために、「self check」「Let's Try」などの囲み記事を設けた。
- (6) 図解を多く用いて、記帳手続きの流れや学習事項の相互関係などを視覚的に理解できるように配慮している。
- (7) 本書では、本文中に「例題」を設け、各章末に「練習問題」、編末に必要な応じ「総合問題」さらに巻末には「記帳例題」を設けることにより、個別の学習事項の確実な理解から、記帳手続きの全体的な流れ等の理解、そして、正確で迅速な記帳技術の習得までを段階的に学習できるように構成した。

(8) 本書では、各学習の理解を深めるために、会社法・会社計算規則などを参照するよう、本文中に指示を示した。

(9) カラーユニバーサルによる全編カラー化、記帳体系や金額記入の流れなどについて視覚的に理解できるようにした。

2. 対照表

(例)

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第Ⅰ編 財務会計の基礎 第1章 企業と企業会計 第2章 企業会計制度と会計基準 第3章 企業会計の歴史	(1) 財務会計の基礎 ア 企業会計の意義と役割 イ 財務会計の機能 ウ 会計法規と会計基準	p. 7～24	2 3 2
第Ⅱ編 資産 第4章 資産の分類と評価 第5章 流動資産（その1 当座資産） 第6章 流動資産（その2 棚卸資産・ その他の流動資産） 第7章 固定資産（その1 有形固定資産） 第8章 固定資産（その2 減価償却） 第9章 固定資産（その3 無形固定資産） 第10章 固定資産（その4 投資その他の資産）	(2) 貸借対照表 ア 資産	p. 25～88	2 4 4 2 3 2 4
第Ⅲ編 負債と純資産 第11章 負債 第12章 純資産	(2) 貸借対照表 イ 負債 ウ 純資産	p. 89～120	5 7
第Ⅳ編 損益計算 第13章 損益計算の意味と基準 第14章 営業損益の計算 第15章 経常損益の計算 第16章 当期純利益の計算 記帳例題 第1例題	(3) 損益計算書 ア 損益計算の意味と損益の 区分 イ 収益・費用の認識と測定	p. 121～156 p. 241～244	2 10 2 2 3
第Ⅴ編 財務諸表の作成 第17章 貸借対照表の作成 第18章 損益計算書の作成 第19章 その他の財務諸表の作成 記帳例題 第2例題 その1	(2) 貸借対照表 ウ 純資産 エ 貸借対照表の作成 (3) 損益計算書 ウ 損益計算書の作成	p. 157～182 p. 244～245	5 5 3 3

第Ⅵ編 連結財務諸表 第20章 連結財務諸表の目的と連結の範囲 第21章 連結財務諸表の作成（その1） 第22章 連結財務諸表の作成（その2）	(4) 連結財務諸表 ア 連結財務諸表の目的と連結の範囲 イ 連結財務諸表の作成	p. 183～218	2 7 8
第Ⅶ編 財務諸表の活用 第23章 財務諸表分析 記帳例題 第2例題 その2	(5) 財務諸表活用の基礎 ア 財務諸表分析の意義 イ 財務諸表の見方	p. 219～240 p. 246	9 4
		計	105

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-212	高等学校	商業	財務会計 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 348	高校財務会計 I 新訂版		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
62～63	リース取引	1	(2) 貸借対照表	2
147	外貨建取引	1	(3) 損益計算書	1
152～ 153	税効果会計	1	(3) 損益計算書	2
合計				5